

第 29 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 11 月 17 日(火) 10:00~12:00
場 所：小友地区コミュニティセンター 集会室
出席者：17 団体 29 名（オブザーバー1 団体 2 名を含む）
進行：酒井（事務局）
文責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 新規登録団体について

- ・ NPO 法人 りくカフェ（10 月 31 日付）
- ・ NPO 法人 SET（11 月 6 日付）

※陸前高田での活動終了を予定されている場合、登録や HP への掲載について等相談
したいことがありますので早めに事務局へご連絡下さい。

2. 活動報告（全体）（10:05~10:45）

- ・ 全参加団体より活動報告、および今後の活動やイベント告知などを共有。
質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 29 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	岩手大学 三陸復興推進機構／佐々木	・「心のケア班市民講座」の開催案内（チラシ有） ・「相談ルーム」からのお知らせ 釜石サテライトのアクセスが悪いということで、釜石駅前の釜石市教育センター5 階 岩手大学釜石教室でも面接が可能になった。早速、宮古から問合せがあった。
2	岩手大学 三陸復興推進機構／後藤	学生ボランティアのコーディネートを行っている。 陸前高田市では、下矢作地区と和野地区で学生が地域の手伝いをしている。また、パクトが行っている「みちくさルーム」の手伝いもしている。活動は今後も継続して行っていく。
3	まるごとりくぜんたかた協議会／伊藤	昨年 7 月に陸前高田市観光物産協会の一部会として正式に発足。陸前高田市の交流人口の促進を図ろうと、企業研修や修学旅行誘致などを行っている。昨年度の参加者は約 60 団体 3,000 名、今年度今のペースでいけば約 3 倍。団体数ではすでに約 100 団体が利用している。

		<p>来年再来年の修学旅行の予約も入ってきている。また、来年度は、サマーキャンパスを事業として行う予定。</p>
4	高田大隅つどいの丘商店街／山本	<p>12/13（日）にフェザンと高田高校のコラボ企画（市内の仮設商店街が協賛）をフェザンで開催予定。今年7月の高田高校書道部・美術部によるTシャツコンテストから上位2名のデザインを商品化して販売する。当日は、書道部のパフォーマンス・美術部の作品展示・ボランティア部の活動報告も行う予定。</p>
5～7	大船渡地区被災者相談支援センター／柎屋	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援相談センターより <p>10月の住宅再建に関連する相談は約20件。12/5～6に住宅再建相談会を開催予定（※センター便り参照）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興情報の発信（復興の現場見学会）について <p>10/24に開催したが、定員を大きく上回ったため、12/5に追加で開催する（チラシ有）。また、11/5には陸前高田市から住田町に避難されている方を対象に開催した。避難されている方の参加は3名に留まったが、支援者の参加が多く交流の機会となった。</p>
8～10	陸前高田市復興支援連絡会／志賀	<ul style="list-style-type: none"> ・会報「おはようさん No.5」の案内 ・カフェ開催について <p>11/5の復興の現場見学会後に、住田の寄合いカフェに参加し、陸前高田市の仮設の様子等を紹介した。今後災害公営住宅も出来てくる中で、県外・内陸避難者の帰還も増えると予想される。お茶会がコミュニティ形成に有効になると思うので、今後も継続していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおぞら整骨院の利用案内
11	いわて生活協同組合／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて生協の広報誌「ハローコープ 冬号」の案内 ・「ふれあいサロン」について <p>11/15、市内の4カ所の仮設住宅に継続してお菓子を支援しているコープいしかわの理事や職員の方々が、支援している仮設住宅のサロンに参加された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コープトラベルの復興応援ツアー（年4回）について <p>10/31に氷上山と一本松のツアーを実施。定員を上回る申し込みがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興商品の取り扱いについて <p>11月に復興商品の特集を組んで陸前高田の商品もいくつか入っていた。手作り作品の利用は減っている状況。</p>

12	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／木下	<ul style="list-style-type: none"> ・復興支援事業について 2011年から5ヵ年計画で実施してきたことに伴い、今年12月末で一区切りを迎える。今後国内事業では、「子どもの貧困・虐待の予防」「子どもを中心とした防災」に力を入れる。 ・陸前高田での活動について 「子どもの保護」では、学童クラブの指導員（気仙地区全体）への研修が終了したので、今後は指導員が中心となり自立した形で研修を進めていく。 「教育」では、あと一年奨学金を続ける。 「子どもにやさしい地域づくり」では、“こどもまちづくりクラブ”を運営・サポートしている。今後も子どもたちが復興やまちづくりに参加していけるよう、子どもたちが行政への提言書や4年間の活動報告のまとめを作成。10/27には実際に行政に提言書を提出。12/13には、地域の方へ向けた最終報告会を予定している。
13～14	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> 「市民活動の支援」「地域づくりをしている地縁組織を含めた団体の支援」「まちづくりプラットフォームの事務局」を行っている。 ・まちづくりコーディネーター育成講座の案内・紹介 ・高田地区市民会議の紹介
15	りくカフェ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ（高田町）について 皆さんが集える場所の提供をモットーに、現在はヘルシー定食の提供と各種イベントを開催。また、イベントの場所として貸し出しも行っている。 ・イベントの予定 「スマートクラブ（第3期）」を開催中で、第4期（1/23～）の参加者も募集中（チラシ有）。その他、女性と子どもが参加できる食育セミナーを企画中。
16	ハマトラ／篠原	<ul style="list-style-type: none"> 11/28（土）横田町でのイベントについて（チラシ有）。 前回7月の開催時には、子ども29名と昼食会には大人10名程の参加があった。フットサルの時間だけでなく、昼食後も大学生と子どもの交流が続く様子が見られたので、今回も楽しみにしている。
17～18	NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）／池田	<ul style="list-style-type: none"> 今月で、ひまわりハウスが丸3年を迎える。約6,000名の利用があった。引き続き活動（場所貸し等）は継続する。 先月より、起業家支援や販路開拓の支援を行っている。また、

		沿岸部の起業家を集めて、交流を深める等コラボレーションのきっかけになればとコミュニティカフェも開催している。
19	教育支援チーム「まつ」／佐々木	11/19（木）市内の小中学校の先生方を対象に、発達障がいに関わる学習講演会を開催。 近日中に Facebook ページを開設予定。
20～ 21	もっちいと森の仲間たち／望月	・最近の活動について 仮設住宅での干し柿作り、畑を手伝っているモビリアで芋煮会を開催、物資（北海道からの綿入れ）の配布、ふれあい教室の外まわりの仕事の手伝い 冬に子どもたちが外で遊べるよう情報収集 ・第2回 森の前同窓会の開催について 今年2月に森の前花壇で交流のあった住民と学生約70名で同窓会を行ったが、もう一度開催してほしいとリクエストがあったため、2/22に第2回を開催する予定。
22	いわて連携復興センター／葛尾	・11/16（月）復興庁「心の復興交流会」の開催報告 復興庁の参事官が来られ、来年度から実施する総合交付金の説明があった。約70団体100名の方に参加いただいた。
23～ 24	遠野山・里・暮らしネットワーク／林・鈴木	・引越しサポートについて 現地スタッフ（2名）が地元の社協から連絡をもらい、引越し応援を行っている。半年～1年で約15件実施。 ・その他 大阪のパルコープからの出向で来ている（林）こともあり、クリスマスや年末の食事会に参加予定。また、まるごとりくぜんたかた協議会には、民泊体験でお世話になっている。 ・新たな取り組みについて（鈴木） 災害公営住宅のコミュニティづくりの支援活動として、10/27大槌町に最初にできた吉里吉里の災害公営住宅で「うまいもの交流会」を実施。これをきっかけに住民が自主的に動きだし自治会の活発化を図りたい。11/21に柳沢前公営住宅でも実施予定。現地のニーズや状況等を聞きたい。
25～ 27	パクト／桑久保・佐藤	「復興サポートステーション事業」「子ども支援事業」「二又復興交流センターの運営事業」を行っている。 ・「二又復興交流センターの運営事業」では、企業の新入社員研修の宿泊拠点として利用いただいている。また、まるごとりくぜんたかた協議会のコーディネートとして、ワークショップで施設を利用いただいている。9月の中旬から始まっ

		<p>たプログラムで12月中旬まで続く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興サポートステーションから挨拶（佐藤） <p>ボランティアを紹介する事業を行っている。今までは復興を機に紹介していたが、これからは市全体を見直しニーズを整理しながら進めていきたいと考えている。</p>
28 ～29	市被災者支援室／武田	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の相談対応について <p>件数：窓口/99件、電話/7件</p> <p>内容：全般的に住宅再建に係るものだが、今は中田災害公営住宅への引越しが進んでおり、引越しの補助金の申請が多かった。件数としては落ち着いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金や義援金、物資について <p>給付金や義援金は市役所で引き続きいただいている。</p> <p>物資は市役所に直接送って下さるもの（編み物・着物でつくった洋服など）もあるが、市役所からは直接住民へ配ることができない。団体のみなさんに協力をいただきながら、喜んでいただける所へつなげていきたい。</p>

3. 活動分野ごとの討議・意見交換（グループ議論）

◇「今後の連携・協力・サポート体制構築に向けた情報の整理と一覧化および意見交換」

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

- ・ 遠野山・里・暮らしネットワークが今後活動していくということで、柳沢前災害公営住宅の現状について情報共有
→集会所の備品があまり揃っていない。どのように用意するかを確認してもらいたい。
※県北では、集会所を使うことで共益費の負担が増えるので、集会所を作らないでほしいという声があった。
- ・ 復興サポートステーションの現状について
団体としてのボランティアの数は減っているが、継続して来てくださる個人のリピーターはいる。
→リピーターを大切にしたい。リピーターと住民の交流の機会といったコミュニティができれば良い。

<2G 子ども・教育/子育て・女性>

➤ 意見交換

- ・ 地域子育て支援センター「あゆっこ」についての情報共有

12月の行事を共有。

あゆっこの先生方より、通ってくる子どものお母さん達があまり積極的でない様子（自分たちで何かやりたいという発言があまりない）が心配という声がある。

→母と子の虹の架け橋（釜石市）やまんまるママいわて（花巻市）、パパサークル等を素材のひとつとして紹介できるのではないかな。

- ・ お父さんの子育て参加について
“育メン”という言葉に疑問はあるが、この言葉のおかげで子育てに関わるハードルを下げたのではないかな。また、年代によって子育ての参加への感覚の違いがある（20～30代は積極的だが40代は参加しにくい等）。しかし、参加していない訳ではなく、小さなイベント（地域の行事やスポ少等）ではお父さんの姿は見られる。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 意見交換

- ・ 議論の目的の再確認
交流人口の増加／滞在時間を増やす／事業者・団体同士の連携
- ・ 情報提供および提案（まるごとりくぜんたかた協議会より）
現在、団体・企業の研修で陸前高田を訪れる方が多い（地元の方々に“民泊”で受け入れてもらいたい）。
→陸前高田を紹介したいが、陸前高田の復旧・復興過程が書かれた資料がない。
今まで、さまざまな活動をしてきた支援団体の活動を、年表のようなものを作成し提示してみてもどうか。震災後の全体の流れに沿って整理することでニーズの変化等を知ることができる資料、また、他地域の災害復旧に関する参考となるのでは。
⇒まずは、NW 連絡会の頃からの情報等、今までの資料からピックアップし、簡単にまとめるところから始めていく。

>以前、結っこ花巻で活動のまとめを作成した物があるので、3Gに共有します。（望月）

4. その他

- ・ 健康のつどいのご案内

日時：11月22日（日）／場所：市コミュニティホール

プラットフォームの取りまとめで、「はまかた喫茶（NPOの活動紹介および参加者の休憩場所）」として参加する。復興支援連絡会・りくカフェ・岩手大学 心のケア班にブースで活動紹介を、いわて生協からは飲み物を提供いただいている。

【次回の開催日程】

- ・ 第30回 支援連絡調整会議
12月15日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡